

ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団



©Monika Rittershaus

ROYAL CONCERT GEBOUW ORCHESTRA

指揮: ファビオ・ルイージ
Fabio Luisi, Conductor

CONCERTGEBOUWORKEST



©Simon van Bortel

2023年
11/7(火)19時 サントリーホール

Tuesday, November 7, 2023 at 7 p.m. Suntory Hall, Tokyo

ウェーバー: オペラ「オベロン」序曲
Weber: "Oberon" overture

リスト: ピアノ協奏曲第2番 イ長調
Liszt: Piano Concerto No. 2 in A major
ピアノ: イェフィム・ブロンフマン
Yefim Bronfman, Piano

チャイコフスキー: 交響曲第5番 ホ短調 op. 64
Tchaikovsky: Symphony No. 5 in E minor op. 64



©Dario Acosta

ピアノ:
イェフィム・ブロンフマン
Yefim Bronfman, Piano

料金: S¥34,000 A¥28,000 B¥22,000 C¥16,000 D¥13,000

主催: KAJIMOTO

後援: 駐日オランダ王国大使館



Kingdom of the Netherlands



その音、世界遺産。ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団が4年ぶりに来日！

世界五大・・・と言えば選ぶのに迷いが生じても、「世界三大オーケストラ」となると、ウィーン・フィル、ベルリン・フィル、そしてロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団(RCO)である、と言い切って異論はあるまい。我々がイメージとして抱くヨーロッパ文化を体現した、まるで落ちて落ち着いた全てにおいて均衡を保つ音は、高い技量の名手たちとアムステルダムの本拠地「コンセルトヘボウ」によって、また各々長い期間をかけてじっくり音楽作りをした7人の首席指揮者たちとの総合力で築かれた。それはもはや世界遺産といってもよい唯一無二の響きだ。

そしてRCOの奏でる音楽はオランダ人特有の「進取気質」によっても形作られる。創設以来、指揮台に上がったマーラーやR.シュトラウス、ストラヴィンスキーといった同時代の作曲家が自作を演奏、20世紀後半にはアーノンクールが古楽のスタイルを持ち込んだ。その都度RCOはそうした新しさを虚心に吸収し、現在に至る伝統とした。またレコード産業が後退する時代にあって、どこよりも早く自主レーベル(RCOレーベル)を設立し、同時にブランディング化を行った。

古き佳き響きと新しさがバランスよく混然一体となったRCO、4年ぶりの来日公演の指揮台に立つのはイタリアの名匠ファビオ・ルイーゼ。首席指揮者不在の期間がしばらく続く同団と良き関係を築いてきた一人である。今回の公演でキレイのいい確固たる造型美、そして躍動をもって披露する名曲たちには(メインの交響曲は、かつて同郷の先輩シャイーが就任直後に行った来日公演時と同じ曲だ)、いやが上にもワクワクが止まらない。オーケストラを聴く最上の醍醐味、ここにあり！

(A)

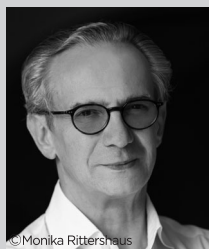


ロイヤル・コンセルトヘボウ管弦楽団 Royal Concertgebouw Orchestra

1888年創立。楽団が創立100年を迎えた際に正式に「ロイヤル(王立)」の称号を与えられた。オランダのマキシマ女王がパトロンを務める。

世界最高のオーケストラの一つで、弦楽器は「ピロードのよう」、金管は「黄金」、木管の「際立った個性」、それらが融け合う唯一無二の類稀な響きは長きにわたって称えられてきた。25カ国から集まった120人以上の奏者で構成され、大所帯とは思えぬ室内オーケストラのような親密さで音楽を奏でている。

マーラー、R.シュトラウス、ストラヴィンスキーらも指揮をし、これまでの首席指揮者はケス、メンゲルベルク、ベイナム、ハイティンク、シャイー、ヤンソンス、ガッティの7人で、2027年シーズンからはマケラが就任予定。またJ.アダムズ、G.ベンジャミンら現代の作曲家たちとも密な関係を築いている。膨大な数の録音は国際的な賞も多数。2004年には自主レーベル「RCO Live」を立ち上げた。ほかにもMezzo.tv、Medici.tvなどと共同で、動画、コンサート配信、ラジオやテレビの定期放送を行うなど、その活動範囲を広げている。



ファビオ・ルイーゼ(指揮) Fabio Luisi, Conductor

ジェノヴァ出身で、現代を代表する指揮者の一人。ドレスデン国立歌劇場の音楽監督やメトロポリタン歌劇場(MET)の首席指揮者、ウィーン響の首席指揮者を経て、現在はダラス響とチューリヒ歌劇場の音楽監督、そして2022年9月からはN響の首席指揮者を務める。コンセルトヘボウ管、ロンドン響、ミュンヘン・フィル、フィラデルフィア管、サイトウ・キネン・オーケストラなどに客演し、ザルツブルク音楽祭でもオペラを指揮。録音も多く、シュターツカペレ・ドレスデンとのR.シュトラウスの交響詩や、METでの《ジークフリート》《神々の黄昏》は数々の国際的な賞を受賞している。



イエフィム・ブロンフマン(ピアノ) Yefim Bronfman, Piano

旧ソ連のタシケントで音楽家の両親のもとに生まれ、1973年にイスラエルに移住。その2年後に17歳でメータ指揮モントリオール響と共演してデビューを果たした。その後アメリカでR.ゼルキンやフライシャーに学んだのち、素晴らしくクリアな音色と技巧をもってソロや協奏曲、室内楽で幅広く活躍。世界のほとんどの超一流オーケストラ、指揮者らと共演し、主要音楽都市では定期的に演奏するなど、現代きっての名ピアニストである。サロネン指揮ロサンゼルス・フィルとのバルトークの協奏曲集の録音でグラミー賞を獲得したほか、国際的な受賞も多い。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)

ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 241-200)

e+(イープラス) <https://eplus.jp/>

CNプレイガイド www.cnplayguide.com

ローソンチケット <https://l-tike.com/> (Lコード: 31873)

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

(オペレーター対応 10:00-18:00 ※休館日は休業)

カジモト・イープラス



“kajimotomusic” で検索！ [f](#) [YouTube](#) [Twitter](#) @kajimoto_News [Instagram](#) @kajimotomusic

一般発売:
5/28(日) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 5/21(日) 10:00~24(水) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 050-3185-6713[10:00~18:00]

- ご来場の皆さまに安心して聴きいただくため、当公演では新型コロナウイルス感染症に対する感染予防、拡散防止に最新の注意を払い、様々な対応策を講じた上で公演を実施いたします。
- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、出演者・曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。